

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	職員間で身体拘束についての研修をし、一定の身体拘束の理解はあり、身体拘束はしていないが、スピーチロック等、精神面の拘束についての自覚が薄いので今後の課題である。	利用者の心理的虐待にあたるような言葉かけに気をつけて、コミュニケーションをとるようになる。	・ ミーティングの中での意見交換 ・ スピーチロックの勉強会の開催 ・ 職員同士のロールプレイなどの取り組みの中で職員が各自言葉かけにたいして意識して関わられるようにしていく。	12ヶ月
2	23	1対1の会話(かかわり)を大切にし、本人の思いを感じるように心がけている。できる限り本人の思いにそって支援しているが、共同生活の中で、本人の満足する支援が十分できないのが課題である。	日常生活の会話の中から本人の意向を把握するように努めていく。	日々の暮らしの中で何気ない言葉にも注目するようにする。職員内で情報を共有し合いその日の状態の変化、気づき、対応等個別記録に記入していく。本人、家族参加のカンファレンスも開催していけるよう努力していく。	12ヶ月
3	2	日々地域の人々と接する機会をもち、日常的な交流を大切にしているが、まだまだ地域との連携がとれていない。地域の行事に参加したり、ホームで行う行事への参加を呼びかけるなどして、積極的に取り組んでいく必要がある。	運営推進会議、ボランティアの訪問機会等を充実させ、積極的に地域とのつながりをはかっていく。	買い物、散歩、ボランティアの訪問機会等をとうして、地域で出会う人との交流を大切にしていく。警察、消防団、災害ネットワークなどの機関との交流をもち、いざという時の協力を築いていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。